

### 接続詞 3

ここでは **if** と **whether** を紹介します。

#### 1. **if, whether** の意味

**if, whether** は共に「～かどうか」を意味し、**that** と同じように名詞節を作ります。ほとんどの場合、**if** と **whether** のどちらを使っても構いません。

例文：

I know whether you were sick.

S    V                    O (名詞節)

= I know if you were sick.

(私は君が病気だったかどうかを知っている。)

## 2. if, whether の用法

if, whether は名詞節を作るので名詞と同じ働きをします。だから、「主語・補語・目的語」になることができます。

### 1 主語になるパターン

○ It is ... whether (if) ~.

意味： 「～かどうかは…だ」

「whether (if) ~」をそのまま主語にしても構いませんが、主語になる場合は形式主語の it を用いるのが一般的です。

例文：

[形式主語 It]

It is uncertain whether you studied.

形式主語                      真主語

(君が勉強をしたかどうかはわからない。)

※こちらのほうが一般的です

[whether (if) ~ をそのまま主語]

Whether you studied is uncertain.

S                      V              C

(君が勉強をしたかどうかはわからない。)

※形式主語 It を使うほうが一般的です

このように、形式主語 It を使っても使わなくても英作はできますが、It を使ったほうが一般的です。では、もう 1 つ例文を紹介します。

例文：

It isn't problem whether you lost the game.

= It isn't problem if you lost the game.

(君が試合に負けたかどうかは問題ではない。)

## 2 補語になるパターン

○ …+is+whether ～.

意味： 「…は～かどうかだ」

補語になる場合、通常 if は使いません。

例文：

The problem is whether it rains.

S V C

(問題は雨が降っているかどうかだ。)

The question is whether the door was locked.

S V C

(問題はドアがカギをされていたかどうかです。)

### 3 目的語になるパターン

目的語になる場合は、通常2通りのパターンがあります。

○ 主語＋動詞＋**whether (if)** ～.

意味： 「…が～かどうかは…」

例文：

I don't know whether they were here.

S            V                            O

= I don't know if they were here.

(私は彼らがここにいたかどうか知らない。)

○ 主語＋be＋形容詞＋**whether (if)** ～.

意味： 「…が～かどうかは…」

例文：

I am not sure whether you didn't do such a thing.

(私は君がそんなことをしてないかどうか確信してない。)